

官庁営繕事業の事後評価表

本省

評価年度 20年度

事業概要	事業名 : 中央合同庁舎第2号館	
	事業費予算化年度: 平成7年度	事業完成年度: 平成15年度
	全体事業費 : 72,207百万円	
	事業目的 : 霞ヶ関Dブロック内において、建設から60年以上経過した旧2号館の老朽、狭あいの解消を目的とする。また、事業開始後、省庁再編に伴う入居官署変更が行われ、当初目的に加え、新省庁の業務遂行のため所要の整備を図りながら、街区全体を整備する。	
事業概要	事業場所 : 東京都千代田区霞が関2-1-2	
	構造・規模 : < 高層棟 > S造 一部 SRC、RC造 地上21階、地下4階、塔屋1階 < 低層棟 > RC造 一部 SRC造 地下4階 総延べ床面積 125,171㎡	
評価の内容	事業の効果 : 中央合同庁舎第2号館事業、すなわち、高層棟、低層棟の整備全体の業務を行うための基本機能評点(B1)は161点であり、また、施策の基づく付加的機能評点(B2)は地域性、景観性、環境保全性、防災性、耐用・保全性はA、ユニバーサルデザイン(建築物内)はBという評価となり、所要の効果が発揮された。	
	対応方針(案) : 当初想定していた事業の効果は概ね発現しており、特に対応は必要ない。	